

今治圏域における必要病床数（案）

ガイドライン表 2 各構想区域における病床の機能区分ごとの医療需要に対する医療供給（医療提供体制）の状況

【宇摩圏域】

	2025年における医療需要	2025年における医療供給（医療提供体制）		
	（当該構想区域に居住する患者の医療需要） （人/日）	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※ （人/日）	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①） （人/日）	病床の必要量（必要病床数）（①）を基に病床利用率等により算出される病床数 ①÷稼働率
高度急性期	74.1		38.5	
急性期	277.6		196.7	
回復期	283.0		227.7	
慢性期	（A）	132.3	102.0	
	（B）	171.6	138.3	
	（特）	201.2	165.3	

【新居浜・西条圏域】

	2025年における医療需要	2025年における医療供給（医療提供体制）		
	（当該構想区域に居住する患者の医療需要） （人/日）	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※ （人/日）	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①） （人/日）	病床の必要量（必要病床数）（①）を基に病床利用率等により算出される病床数 ①÷稼働率
高度急性期	178.0		147.2	
急性期	642.9		586.2	
回復期	610.1		540.9	
慢性期	（A）	494.5	455.9	
	（B）	570.6	532.2	
	（特）	598.3	561.7	

【今治圏域】

	2025年における医療需要	2025年における医療供給（医療提供体制）		
	（当該構想区域に居住する患者の医療需要） （人/日）	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※ （人/日）	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①） （人/日）	病床の必要量（必要病床数）（①）を基に病床利用率等により算出される病床数 ①÷稼働率
高度急性期	118.8	89.3	89.3	119.1
急性期	532.2	456.1	532.2	682.3
回復期	636.7	547.1	636.7	707.5
慢性期	（A）	268.1	207.4	
	（B）	339.9	275.6	
	（特）	398.2	330.0	398.2

【松山圏域】

	2025年における医療需要	2025年における医療供給（医療提供体制）		
	（当該構想区域に居住する患者の医療需要） （人/日）	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※ （人/日）	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①） （人/日）	病床の必要量（必要病床数）（①）を基に病床利用率等により算出される病床数 ①÷稼働率
高度急性期	461.7		584.9	
急性期	1553.7		1815.5	
回復期	1852.0		2153.5	
慢性期	（A）	1516.5	1708.6	
	（B）	1696.3	1895.5	
	（特）	—	—	—

【八幡浜・大洲圏域】

	2025年における医療需要	2025年における医療供給（医療提供体制）		
	（当該構想区域に居住する患者の医療需要） （人/日）	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※ （人/日）	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①） （人/日）	病床の必要量（必要病床数）（①）を基に病床利用率等により算出される病床数 ①÷稼働率
高度急性期	95.1		44.0	
急性期	379.1		264.5	
回復期	624.0		491.6	
慢性期	（A）	342.3	264.9	
	（B）	382.4	300.5	
	（特）	409.1	323.8	

【宇和島圏域】

	2025年における医療需要	2025年における医療供給（医療提供体制）		
	（当該構想区域に居住する患者の医療需要） （人/日）	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※ （人/日）	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①） （人/日）	病床の必要量（必要病床数）（①）を基に病床利用率等により算出される病床数 ①÷稼働率
高度急性期	86.3		89.8	
急性期	326.3		338.8	
回復期	408.5		404.5	
慢性期	（A）	264.5	258.0	
	（B）	282.3	275.4	
	（特）	—	—	—

※「当該構想区域に居住する患者の医療需要」が患者住所地による医療需要を示し、「現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※」が医療機関所在地による医療需要を示す。

※上記二つの医療需要を踏まえ太枠「将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの（①）」を埋めるのが、各構想区域の調整会議における協議事項となる。

地域医療構想策定ガイドライン 表2及び表3(案)

【今治圏域】

表2 各構想区域における病床の機能区分ごとの医療需要に対する医療供給(医療提供体制)の状況
推計年度 平成37年(2025年)

	2025年における医療需要		2025年における医療供給(医療提供体制)				病床の必要量(必要病床数)①を基に病床利用率等により算出される病床数	
	(当該構想区域に居住する患者の医療需要)		現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※		将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの①			
	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)		
高度急性期	118.8	158.4	89.3	119.1	89.3	119.1	119.1	
急性期	532.2	682.3	456.1	584.8	532.2	682.3	682.3	
回復期	636.7	707.5	547.1	607.9	636.7	707.5	707.5	
慢性期	(A)	268.1	291.5	207.4	225.5			
	(B)	339.9	369.5	275.6	299.6			
	(特)	398.2	432.8	330.0	358.7	398.2	432.8	432.8

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期については、厚生労働省がデータ提供の技術的支援

表3-1 主な疾病別の医療需要に対する医療供給(医療提供体制)の状況<がん>
推計年度 平成37年(2025年)

	2025年における医療需要		2025年における医療供給(医療提供体制)				病床の必要量(必要病床数)①を基に病床利用率等により算出される病床数	
	(当該構想区域に居住する患者の医療需要)		現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※		将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの①			
	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)		
高度急性期	27.3	36.4	13.6	18.1	13.6	18.1	18.1	
急性期	62.8	80.5	35.5	45.5	62.8	80.5	80.5	
回復期	57.4	63.7	34.9	38.8	57.4	63.7	63.7	
慢性期	(A)	0.0	0.0	0.0	0.0			
	(B)	0.0	0.0	0.0	0.0			
	(特)	0.0	0.0	0.0	0.0			

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期については、厚生労働省がデータ提供の技術的支援

表3-2 主な疾病別の医療需要に対する医療供給(医療提供体制)の状況<急性心筋梗塞(MDC05その他循環器系疾患含む)>
推計年度 平成37年(2025年)

	2025年における医療需要		2025年における医療供給(医療提供体制)				病床の必要量(必要病床数)①を基に病床利用率等により算出される病床数	
	(当該構想区域に居住する患者の医療需要)		現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※		将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの①			
	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)		
高度急性期	11.5	15.3	0.0	0.0				
急性期	32.5	41.7	28.0	35.8	32.5	41.7	41.7	
回復期	28.8	32.0	25.9	28.7	28.8	32.0	32.0	
慢性期	(A)	0.0	0.0	0.0	0.0			
	(B)	0.0	0.0	0.0	0.0			
	(特)	0.0	0.0	0.0	0.0			

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期については、厚生労働省がデータ提供の技術的支援

表3-3 主な疾病別の医療需要に対する医療供給(医療提供体制)の状況<脳卒中>
推計年度 平成37年(2025年)

	2025年における医療需要		2025年における医療供給(医療提供体制)				病床の必要量(必要病床数)①を基に病床利用率等により算出される病床数	
	(当該構想区域に居住する患者の医療需要)		現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの※		将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの①			
	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)	(人/日)	(床)		
高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0				
急性期	33.2	42.5	32.2	41.3	33.2	42.5	42.5	
回復期	30.0	33.4	28.8	32.1	30.0	33.4	33.4	
慢性期	(A)	0.0	0.0	0.0	0.0			
	(B)	0.0	0.0	0.0	0.0			
	(特)	0.0	0.0	0.0	0.0			

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期については、厚生労働省がデータ提供の技術的支援